

野菜の展望

寒かった今年の冬も終わり、ラニーニャ現象の終息も発表されましたが、天候は不安定で気温の上下動が大きい傾向にあります。野菜の生育にも多少の影響はあるものの、今のところ露地野菜は1・2月期の大寒波や降雪による生育遅れも3月期の気温上昇により回復しつつあり、平年並みの出荷が見込まれております。

季節商材の筍は裏年にあたります。上旬が九州地区と徳島・和歌山産中心の入荷です。上旬頃から石川産も加わると思われますが、年々ピーク期が前進化しているのが現状です。山菜は能登地区が中心で、ふきのとうは上旬でほぼ終了となります。せんな・あさつき・野芹・野みつば・こごみ・行者にんにく等は雪害の影響やイノシシなどの被害もあり、例年よりも入荷量が減少する見込みです。特にたらの芽とこしあぶらは少ないと思われます。

果菜類の胡瓜は高知主体で群馬・愛知産に加えて石川産の入荷です。太胡瓜の入荷も徐々に増えてきます。南瓜はニュージーランド産を中心に、沖縄産の入荷となります。ピーマンは高知・鹿児島産の入荷です。豆類ではインゲンが高知・鹿児島産、砂糖えんどうは静岡・愛知産、キヌサヤが愛知・鹿児島中心の入荷となります。トマト・ミニトマトは愛知産主体に熊本・岐阜産の入荷です。

葉洋茎菜類のレタスは兵庫・茨城産、ブロッコリーは高知産中心に愛知・九州・石川産の入荷となり、冬作から春物へと作型が移行します。キャベツは冬系が愛知産、春系では愛知産を中心に千葉銚子産の入荷です。白菜は茨城・長崎・熊本産の入荷、葱は東物が大分産、5kgバラ詰めは埼玉・群馬産の入荷となります。ほうれん草は群馬・静岡・岐阜・茨城産中心に石川産の入荷です。蒔は愛知(知多地区)産の入荷で、春蒔の最盛期を迎えます。

根菜類の大根は千葉産主力に九州産の入荷で、人参は徳島中心の入荷となります。蓮根・甘藷も石川産主力に茨城産の入荷となり、石川産の蓮根は平年より多い見込みです。甘藷は前年よりやや多いみこみです。牛蒡は青森産中心に、一部中国産の入荷。菌茸類は椎茸が石川産菌床物中心で、長野・徳島・富山・兵庫産、原木物は石川産露地物「のと115」主体の入荷となりますが、天候次第では早期終了が予想されます。榎茸は長野産主力で、しめじ類は長野・石川・新潟産主力の入荷。舞茸・エリンギについては新潟・長野産中心の入荷です。きのこ類は減産に入っていますが、比較的安定した入荷が予想されることから拡販期待の商材です。

土物類は馬鈴薯が鹿児島産主体で、北海道産の残量は平年より多い見込みです。下旬頃より長崎産も加えての入荷となります。玉葱は北海道産貯蔵物と愛知・九州産の新玉葱の入荷となりますが、道産の残量は平年並みの予想で4月いっぱい入荷します。府県産のスタートは平年並みの予想です。生姜は高知産の入荷となります。順調な入荷が予想され、相場は前年並みで推移する見込みです。

4月は新しい年度のスタートです。例年以上に各種イベントやGWを前に多彩な販売企画を立案の上、販売拡販にご協力をお願い致します。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

各地から開花の便りが届き、いよいよ春本番を迎える季節となりました。

莓は愛知・鹿児島・長崎・福岡産の入荷で、3番果から4番果の出荷となり、各産地共に順調な入荷が見込まれます。

長崎産の枇杷はハウス物で2Lサイズ主体の入荷となります。各産地共に気温高い影響により7日程生育早く、中旬より出荷ピークを迎えると予想され、例年並みの出荷量となる見込みです。

柑橘類は鹿児島産の紅甘夏、三重産のサンフルーツや鹿児島・熊本・和歌山産のデコポン・清見みかん、愛知産のセミノール等の入荷があります。愛知産のハウスみかん（JA蒲郡市）は、前年と同時期の4月中旬頃より入荷が始まり、週2回（月・木）の販売を予定しています。

りんごは青森産の入荷で、サンふじ・シヨナゴールド・王林中心の入荷。玉流れについては小玉傾向で36、40玉主力での入荷となります。

西瓜は熊本産主力の入荷で、作付面積は前年よりやや減少し、入荷量も減少となります。小玉西瓜については中心産地の群馬産の生産量が減少しているため、熊本・長崎産等の入荷も予想されます。

メロン類は静岡・高知・熊本産からの入荷がありますが、各産地共に作付面積は年々減少しています。鹿児島・熊本産のアンデス・クインシーメロン・雑メロン等についても同様の状況が見受けられます。

施設物については、桜桃は中旬、デラウエアアは下旬からと、今月についてはまだ入荷は少ないと予想されます。

輸入果実のバナナではフィリピン産・エクアドル産ともに入荷は安定です。価格はやや高値で推移する予想です。オレンジはカリフォルニア産ネーブル種主体で安定した出回りとなり、玉サイズは72玉サイズ中心に、88玉・113玉サイズの入荷。グレープフルーツはイスラエル産の入荷となります。レモンはカリフォルニア産主体の入荷が見込まれます。パインはゴールドン種・スウィーティオ種の入荷となり、需要期を迎えて高値推移が見込まれます。その他果実ではカリフォルニア産のミネオラ・マーコット、メキシコ産のハネジューメロン、チリ産レッドグローブ、メキシコ・タイ産マンゴー、ハワイ産パイアヤ等の入荷です。マンゴーはこれから最盛期に向かい安定した入荷が見込まれます。

今月も、何卒宜しく御願ひ申し上げます。

《果実部部長 荒木 智》